

やまのかたりべ  
第58章 奥多摩 鷹ノ巣山

今回は、E0Jのスタッフ、湯浅氏と山登りに行く事に。住まいが埼玉と言う事なので、日帰りでそれなりに標高のある山…ということで、奥多摩にある鷹ノ巣山に決定。日原から登り、奥多摩湖に下山するコースを選択。既に関東も梅雨入りしており、天気の方が心配でしたが、この日は運よく予報は雨マークなし。

6月13日(土)

朝6時30分 自宅出発

立川駅7時15分発の特別快速ホリデー快速奥多摩行きに乗り換える。

<ポイント1>

ホリデー快速は、名前の通り土曜日と日曜日、祝日のみに運行している電車。かなり駅を飛ばすので、終点の奥多摩駅を目指す人にとっては時間短縮になる。拝島駅で前4両は武蔵五日市駅に、後6両が奥多摩駅に分かれるので、ご利用の際はお間違えの無い様に。また自分の降りる駅が停車駅かの確認もお忘れなく。

8時21分 奥多摩駅着

ホームはほぼ登山者で溢れていた。改札を通り抜けるのにも時間がかかった。

湯浅氏とは奥多摩駅で待ち合わせ。しかし、登山者の多さに見つけれず、私は先に東日原行きのバスに並び、旦那に探しに行ってもらうことに。既にかかなりの登山者が列をなしていた。雲取山方面に向かうバス停も長蛇の列。すごい登山者の数にただただ驚くのみ。

8時35分 東日原行のバスが到着

そして湯浅氏と旦那と合流。

一台のバスでは乗り切れず、臨時のバスがでる…が、それでも乗り切れないと言う状況。

本当にスゴイ。我々は二台目のバスに乗車し、運よく座ることができた。

窓の外を眺めていると…あれ！？！？

なんと！！私の実姉がいるではありませんか…。

たくさんある山のなかで、同じ山に、同じ日に、同じコースから登るなんて、なんとというタイミング、なんて気が合うのでしょうか。



9時過ぎ 終点東日原到着

運賃460円。公衆トイレあり。

バスから降り、登山準備。姉の姿を発見！姉も山仲間と来ており、話に夢中でこちらに気づかず、肩をポンポンと叩くと、「あれ~~~~っ！！」と驚く。姉のいつもお世話になっている山仲間の方にご挨拶し、それぞれ出発する。奥多摩はクマ出没地でも有名。E0Jのプチベル(熊鈴)をザックに装着。

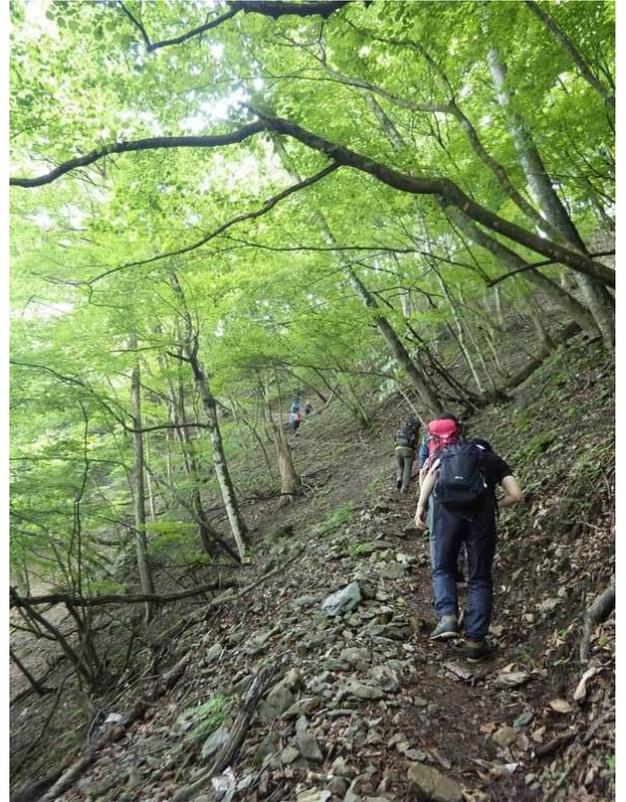
<ポイント2>

東京都随一の原生林を擁する日原エリアは、鍾乳洞、奇岩、名木などが点在する東京の自然博物館。バスダイヤを確認しながら行動するのがこのエリアのポイント。(奥多摩町観光産業課:フリーマガジン参照)

しばらく道路沿いに歩いた後、左の林道へ入った。鷹ノ巣山の標識があるので、迷う事は無いと思われる。橋を渡ると、下では溪流釣りを楽しんでいる方が。沢の流れ、木漏れ日、気持ち良さそう。



新緑がきれいな季節。すると、歩いている上の方でガサガサとなにか生き物が動いているのを発見！  
…姿を現すまでじっと見ていると、ちいさいウリボウがあたふたしながら逃げて行った。逃げていく姿はかわいいものだが、近くに親がいる？と思うと恐怖。物音に敏感になりながら先へ進む。30分ぐらい歩いたところで、汗も程よく出てきたので衣類を調整、水分補給。



10時5分 稲村岩に到着

稲村岩に向かう最後20分ぐらいは急坂になる。小休憩。風は冷たく、汗も直ぐに引いていく。



10時15分 出発

稲村岩尾根をひたすら登る。

途中、根から倒れている大木を見かけた。

根元からひっくり返るとは、根がきちんと土壤に張れなかったのか？



途中1回休憩。各自、E0Jのステッキ(4段クッション金剛)を使用することに。気持ちの良いペースで山頂まで。

11時55分 標高、1736.6m、鷹ノ巣山山頂到着  
山頂はあいにくガスっていた。遠くの展望は見えず。  
残念。山頂、小さい虫がぶんぶん頭の周りを飛んでいた。虫よけスプレーが必携。

お腹も空いたので、早々に昼食準備。今回はバーナーを持参しカップ麺を楽しんだ。食後にコーヒーと甘い物を食し、のんびり1時間。しばらくすると、背後で私の名前を呼ぶ声。振り返ると姉達グループの方々も到着。皆笑顔。「お疲れ様でした〜」



### 13時、山頂出発

奥多摩湖に下山するコースは、いくつかあるが今回は水根沢林道を降りるコースを選択。広葉樹が多く、沢も流れていてとてもきれい（個人的に好き）なコースだ。しばらくならかな尾根。山つつじが綺麗だった。分岐点がいくつかあるが、道標があるので地図と確認しながら歩けば迷う事はないと思われる。

少々ぬかるみもあり、滑る事もしばしば。  
EOJのプチドラゴン（踵に付けるアイゼン）を使用することに。

（サイズが3種類あるので、お求めの際はかかとの幅を確認してください。  
また、バンドをしっかり締めないと、緩みの原因となります。）

下山途中、日差しも戻ってきた。  
沢と橋、新緑と木漏れ日……静かな時間。  
秋は紅葉も美しいので、お薦め。

ところどころ細い場所があり、また、落石にて荒れた場所もあった。気を付けて通過していただければと思う。

15時20分 水根沢の登山口に到着

登山口には花畑が出来ていた。帰宅して調べてみたところ、「ジギタリス」という花ではないかと思われる。



バスの時間まで 30 分以上あったので奥多摩湖まで行く事に。  
缶ビールを購入し、奥多摩湖を眺めながら乾杯。  
汗をかいた後のビールが渴いたのどを潤す。

### <ポイント 3>

東京都の貴重な水源である奥多摩湖は、多摩川を小河内ダムによって堰き止めて造った人造湖で有効貯水量は 1 億 8540 万立法メートル。都民が利用する水の 2 割を供給している。周辺は豊かな自然に囲まれ、春の桜、夏の緑、秋の紅葉と四季折々の美しい景気が楽しめる。

15 時 58 分 奥多摩駅行きバス出発

気付くとバスの時間、停留所にはバスが既に駐車している。急げ〜とバス停に向かうが先発バスは行ってしまった。後発のバス(臨時のバス)が直ぐ到着。ラッキー。奥多摩の駅まで我々のみの乗車だった。

16 時 15 分 奥多摩駅に到着

16 時 23 分発、特別快速ホリデー快速おくたまに乗車。

梅雨の合間の晴れ間に恵まれ、美しい新緑に癒された。今回も楽しい時間を共に過ごした仲間へ感謝。

6/13(土)

奥多摩駅着	8 時 21 分
東日原行バス発	8 時 35 分
東日原着	9 時 05 分
稲村岩着	10 時 05 分
鷹ノ巣山山頂着	11 時 55 分
発	13 時 00 分
水根沢登山口着	15 時 20 分
奥多摩駅行バス発	15 時 58 分
奥多摩駅着	16 時 15 分



プチドラゴン



4 段クッション金剛



エキスパート型ベルと鈴掛

< 今回の「鷹ノ巣山」山行をサポートしてくれたアイテムをご紹介！ >